

事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	ひろとがわ 広渡川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	にちなんし 日南市ほか1市
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、県の最南部に位置し、南那珂地域の2市で構成され、鰐塚山から南東部にかけ ては標高 500m前後の山々からなり、標高 200m以下の丘陵地が多く分布するなど、全般的 に比較的緩やかな地形となっている。海岸線はやや起伏に富み、屈曲が多く、天然の良港に 恵まれている。 森林面積は、民有林面積が 37 千 ha、そのうち人工林は 23 千 ha（人工林率 62%）となっ ており、樹種別ではスギが人工林の 94%、齢級構成別では 12 齢級が最も多く、11～13 齢級 が全体の 47%を占めるなど高齢級の割合が高いことから、主伐後の確実な再造林が必要と なっている。 また、本地区では、近年充実した森林資源を背景に、量産型集成材工場のほかプレカット 工場が整備され製材品の高付加価値生産が進められており、伐採量が増加している状況とな っており、豊かな森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、 使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」と齢級構成の 平準化を進めていく必要がある。 このため、本事業では、森林資源の循環利用と水源涵養機能等の森林が持つ役割に応じた 適正な森林管理を進め、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るとともに、成熟した森 林資源を有効活用し、木材の安定供給体制の確立に資するため、施業地の集約化や生産コス ト縮減の取組を進めながら、植栽等の更新作業や間伐等の森林整備を一体的かつ計画的に実 施する。
事業内容・事業費	森林整備：森林整備：13,980ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等 総事業費：5,807,971 千円（税抜き 5,279,974 千円）
費用便益分析結果	B/C = 5.21 （総便益（B）= 43,033,742 千円、総費用（C）= 8,257,484 千円）

評価結果	必要性： 水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。 有効性： 木材の安定供給体制の確立とともに、森林資源の循環利用を図り、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進を目指しており、事業の有効性が認められる。
-------------	--

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：広渡川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	12,042,903	
	流域貯水便益	3,597,871	
	水質浄化便益	14,672,941	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,256,908	
環境保全便益	炭素固定便益	1,386,632	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,076,487	
総 便 益 (B)		43,033,742	
総 費 用 (C)		8,257,484	
費用便益比	$B \div C = \frac{43,033,742}{8,257,484} = 5.21$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{75,221,040}{10,376,091} = 7.25$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{104,362,151}{11,944,186} = 8.74$		

森林環境保全整備事業 広渡川地域（宮崎県）概要図

